

Sakura
City
Museum

開館
30周年記念
Memorial
Exhibition

さくら市の歴史と文化

御所様、 喜連川を 治める

令和5年

11.25〔土〕-

12.10〔日〕

午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

- [主催] さくら市ミュージアム-荒井寛方記念館-
 [休館日] 毎週月曜日
 [観覧料] 一般/300(210)円
 高校・大学生/200(140)円
 小・中学生/100(70)円
 ※()内は20名以上の団体料金
 ※さくら市内の70歳以上の方、障がい者手帳を
 お持ちの方とその介護者1名は半額

喜連川足利氏の
江戸時代



喜連川城下絵図(部分) 個人蔵 文久3(1863)年 さくら市指定文化財

喜連川家格式書付(部分) 個人蔵 文化12(1815)年

さくら市ミュージアム 荒井寛方記念館

TEL 028-682-7123 FAX 028-682-7854
〒329-1311 栃木県さくら市氏家1297



<https://www.city.tochigi-sakura.lg.jp/museum/index.html>

さくら市の歴史と文化

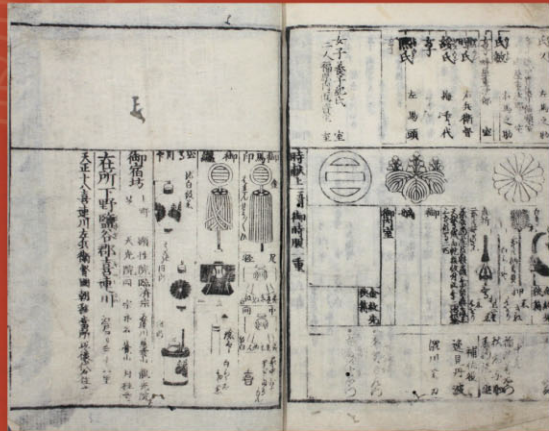
御所様、喜連川を治める

喜連川足利氏の江戸時代

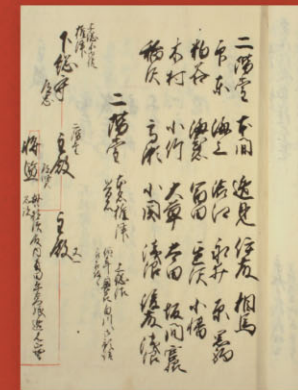
江戸時代、喜連川を治めていたのは室町幕府を開いた足利尊氏の系譜を引く喜連川足利氏です。その格式・由緒から「御所様」と呼ばれ、領地は五千石でありながら、江戸幕府から例外ともいえる特別待遇を受けていました。

しかし、喜連川足利氏はその待遇に甘んじて優雅に悠々と暮らしていた訳ではありません。足利氏の子孫であるからこそ、「家」を存続させるため奔走し、統治者として家臣や領内の暮らし・文化を向上させるために当主自ら気を配りました。

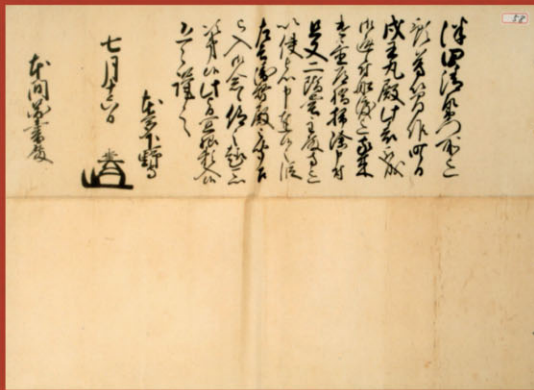
喜連川足利氏には室町時代から関東を支配した鎌倉・古河・小弓公方家を経て江戸時代まで連綿と伝来・継承してきた「喜連川文書」があり、さくら市ではその多くを所蔵しています。本展覧会では、この「喜連川文書」を初公開のものを加え、また、さくら市に伝わる古文書を通して、江戸時代を生き抜いた喜連川足利氏の姿を紹介します。



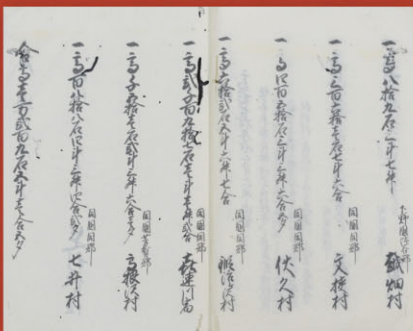
大成武鑑 江戸時代末期 さくら市蔵



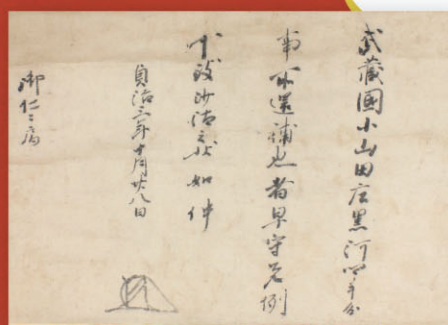
当士家譜集 江戸時代 個人蔵



喜連川文書 本多忠平書状 江戸時代初期 さくら市蔵



喜連川支配地郷村高帳 明治2(1869)年
個人蔵 / 栃木県立文書館寄託



足利基氏御判教書 貞治3(1364)年 個人蔵
5代氏春から家臣へ褒美として与えられた南北朝時代の文書

関連行事

記念講演会

近世大名喜連川・大関両家の史料整理・保存措置
-喜連川恵氏の「天明元年目録」と大関増業の「御朱印箱入記」を中心として-

講師 大田原市黒羽芭蕉の館学芸員
新井敦史氏
日時 令和5年11月26日(日) 午後1時30分～
場所 当館講座室
定員 60名 事前申込制(先着順)
申込 講演のみ参加無料
右記二次元コードまたはお電話にてお申込みください。
11月1日(水)より申込開始
(電話は10時から)



喜連川文書を読もう (古文書講座)

講師 当館学芸員
日時 令和5年12月9日(土) 午前10時～
場所 当館体験学習室
定員 20名 事前申込制(先着順)
申込 講座のみ参加無料
右記二次元コードまたはお電話にてお申込みください。
11月1日(水)より申込開始
(電話は10時から)



朗読コンサート

「雪と紅葉の咲く城で」
出演者 落合崇史氏(音楽)
須賀由美子氏(朗読)
手塚春樹氏(朗読)
日時 令和5年11月25日(土) 午後2時～(1時間程度)
場所 当館展示室
定員 80名 事前申込制(先着順) ※要観覧料
申込 右記二次元コードまたはお電話にてお申込みください。
11月1日(水)より申込開始
(電話は10時から)



落合崇史氏



二次元コード等についてのご不明な点はお問い合わせください。